

ウェブサイト

○ 国立がん研究センター がん情報サービス
<https://ganjoho.jp/public/index.html>
各種のがんについて、がんとの向き合い方、診断・治療方法、緩和ケアについて、病院検索など、さまざまな情報を調べることができます。

○ 大阪国際がんセンター がん対策センター「大阪 がん情報」

<http://www.mc.pref.osaka.jp/ocr/>
大阪府のがん診療の状況や、がん診療拠点病院に関する情報などを紹介しています。病院の検索もできます。

○ 大阪がんええナビ

<http://www.osaka-anavi.jp/>
患者・家族・遺族と患者会支援団体、がんに関わる医療者らにより設立された、がん情報の総合的なポータルサイト。大阪府下の幅広いがん情報を配信しています。

がん相談支援センター

がんに関することなら、誰でも、どんなことでも相談できる、がんの相談窓口です。

○ 大阪労災病院

月～金曜日：8時15分～17時00分
堺市北区長曾根町1179-3
TEL:072-252-3561 FAX:072-255-8203

○ 堺市立総合医療センター

月～金曜日：9時00分～17時00分
堺市西区家原寺町1-1-1
TEL:072-272-1199 FAX:072-272-9911
* 手話通訳者がいます

まちライブラリープラザひといき

がん関係の本を中心に利用できます。
水・金・土曜日：10時～15時(土曜は12時)
堺市堺区旭ヶ丘中町4-3-1健康福祉プラザ4階
TEL:072-275-5027 FAX:072-243-2222

がん検診をうけるには

肺がんは喫煙との関係が非常に深いがんですが、タバコを吸わない人でも発症することがあります。早期にがんを発見し、適切に治療することで、がんによる死亡のリスクを軽減できます。

堺市では、肺がん検診を40歳以上の市民を対象に、胸部X線撮影を、さらにたん検査対象者には「喀痰細胞診」を実施しております。「受診促進強化期間」として、2022年3月31日まで無料で受診できます。

実施医療機関や詳しい検査方法は、がん検診総合相談センターにお問合せください。検診に不安のある場合は、ご相談ください。

連絡先	
がん検診総合相談センター (コールセンター)	Tel 072-230-4616 Fax 072-230-4636
堺保健センター	Tel 072-238-0123 Fax 072-227-1593
ちぬが丘保健センター	Tel 072-241-6484 Fax 072-247-3201
中保健センター	Tel 072-270-8100 Fax 072-270-8104
東保健センター	Tel 072-287-8120 Fax 072-287-8310
西保健センター	Tel 072-271-2012 Fax 072-273-3646
南保健センター	Tel 072-293-1222 Fax 072-296-2822
北保健センター	Tel 072-258-6600 Fax 072-258-6614
美原保健センター	Tel 072-362-8681 Fax 072-362-8676

本リーフレットは「継続的なワークショップ運営による情報弱者向けのがん情報ツールの作成と普及」事業班<2014-2016年度>において初版作成



正しく知ろう

肺がん



協力：国立がん研究センター
慶應義塾大学

編集：堺市
堺市立健康福祉プラザ
大阪労災病院
堺市立総合医療センター

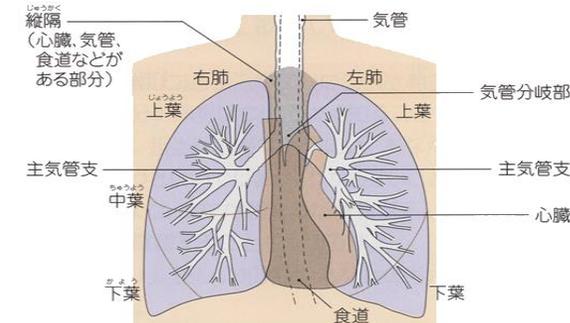
発行：堺市立西図書館
堺市西区鳳南町4-444-1
TEL 072-271-2032

<http://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/library/>

2020年9月1日改訂

肺がんとは・・・

肺がんは気管支や、肺胞の細胞が何らかの原因でがん化したものです。肺がんは進行するにつれてまわりの組織を破壊しながら増殖し、血液やリンパの流れのつて広がっていきます。



肺門部: 太い気管支が細かく分かれ、肺に入っていくあたり(肺の中心部)
肺野部: 肺門部の先の肺の末梢部分
国立がん研究センターがん情報サービス がんの冊子「肺がん」第3版より引用

【肺がんの特徴】

肺がんは喫煙との関係が非常に深く、たばこを吸わない人でも発症することがあります。周囲に流れるたばこの煙を吸う受動喫煙により発症リスクが高まることもわかっています。

一般的な症状としては、なかなか治りにくい咳(せき)、血痰(けつたん)、胸痛、呼吸時のゼーゼー音(喘鳴: ぜいめい)、息切れ、声のかれ(嘎声: させい)などですが、これらは必ずしも肺がん特有のものではありません。また、症状がほとんどない場合が多く、胸部レントゲンやCT検査で発見される事もあります。

【肺がんの治療】

肺がんの治療は、肺がんの分類(非小細胞肺がんと小細胞肺がん)と病期(ステージ)に基づいて治療法が決まりますが、がんのある場所、全身の状態、年齢、心臓や肺の機能なども総合的に検討して治療法(手術、放射線治療、薬物療法)を選択します。

※さらに知りたい場合は右記の資料をご参照ください

ブックリスト (西図書館選定) まちライブラリープラザひといき・堺市立図書館でご利用いただけます

肺がんってどんな病気

- 『肺がん』第4版 国立がん研究センター がん対策情報センター 2020年7月
国立がん研究センターがん対策情報センター発行の小冊子。受診から診断、治療、経過観察への流れをまとめたもの。【※墨字版・でんし冊子・音声版(旧版)・点字版(旧版)】
- 『肺がん インフォームドコンセントのための図説シリーズ』改訂5版 西條 長宏/監修 医薬ジャーナル社 2017年8月
早期肺がんから進行肺がんまで、あらゆる種類の肺がんの病態、症状、診断、治療の概要を解説。図表や写真を多く掲載してわかりやすく紹介。

肺がんの治療について

- 『患者必携 がんになったら手にとるガイド 普及新版』国立がん研究センター がん対策情報センター/編著 学研メディカル秀潤社 2013年9月
がんの診断や治療、療養生活で問題や不安が生じたときに必要とされる情報をまとめたガイドブック。【※墨字版・電子書籍(2017年2月発行)・音声版・点字版】
- 『肺がん (よくわかる最新医学)』坪井 正博/著 主婦の友社 2017年7月
患者が病状を理解し治療法を選択するために、検査・診断、治療から術後のケアや退院後の生活対策までわかりやすく解説。巻末には、肺がんの情報が得られる機関やサポートグループなどの紹介がある。
- 『最先端治療肺がん (国がん中央病院がん攻略シリーズ)』国立がん研究センター中央病院呼吸器内科/編著 法研 2016年1月
肺がんの基礎知識に加え、国立がん研究センター中央病院で実施されている最先端の薬物治療を中心に、分子標的薬、有望な免疫療法、血管新生阻害薬など、新しい治療への試みとその現状を紹介。
- 『国立がん研究センターの肺がんの本』渡辺 俊一/ほか監修 小学館クリエイティブ 2018年6月
肺がんに関する知識から検査、治療方法、そして治療後の療養などについて解説。病状の程度ごとに確立されている標準治療や、治療がどこまで進歩しているのかわかりやすく紹介。

- 『患者さんのための肺がんガイドブック 悪性胸膜中皮種・胸腺腫瘍含む』日本肺癌学会/編 金原出版株式会社 2019年12月
「肺癌診療ガイドライン」に準じた患者さん家族向けガイドブック。Q&Aで知りたい情報がすぐ分かる。

肺がんの闘病記・がんを知る本

- 『校長先生、がんになる』小林 豊茂/著 第三文明社 2018年3月
ステージIVの肺腺がんを宣告された校長先生。先生を救ったのはこれまで生徒に行ったがん教育だった。

※墨字版・音声版・でんし冊子はがん対策情報センターホームページからダウンロードできます。
点字版は堺市立健康福祉プラザ内、視覚聴覚障害者センターでご利用いただけます。